

2023-24年度R1テーマ
Create Hope in the World
世界に希望を生み出そう

R1会長
ゴードンR.マッキナリー



TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会 長	宮本 和彦	会 計	土伏 英晴	管理運営	吉本きよ子
会長エレクト	宇都宮勝博	S A A	三好 静子	会員組織	堀越 賢二
幹 事	宇都宮勝博	副S A A	木村 安伸	奉 仕	久藤 孝仁
副 幹 事	福本 博之	直前会長	板場 英行		

事務局／〒725-0021竹原市竹原町3591
TEL／0846-22-7570 FAX／0846-22-7651
E-mail／rc-take@estate.ocn.ne.jp
http://www.takehara-rc.com
例会日／毎週木曜日12:30~13:30
例会場／大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 8月17日	次週のプログラム 8月23日(水)
クラブアッセンブリー	井内康輝ガバナー公式訪問

【2023年8月3日 第2779回例会記録】

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング：奉仕の理想
- 4つのテスト（中川康子会員）
- ゲスト：G9ガバナー補佐 田坂 潤様
補佐幹事 勝村 憲明様
- 会員数：11名 □出席者：9名
- 欠席者：2名 □メイク：0名
- 出席率：81.82%

記念日代表者謝辞

8月 中川 康子会員



会長の時間



【会長 宮本 和彦】
皆様こんにちは。
本日は三原ロータリークラブよりグループ9ガバナー補佐田坂様、ガバナー補佐幹事勝村様をお迎えしてのプレ公式訪問例会でございます。

田坂様、勝村様には暑い中、ご多忙の中、竹原ロータリークラブにお越しいただき、心より御礼申し上げます。田坂様にはのちほど卓話をよろしくお願ひ致します。

さらに、例会終了後にはクラブアッセンブリーが行われます。内容は、活動計画の目標と問題点です。その後、8月23日に行われる公式訪問フォーラムでの質問事項等の検討をしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

三週間後には、公式訪問がございます。公式訪問の目的は、ロータリーの重要な問題に焦点を当て、関心を持たせる、弱体及び問題のあるクラブに特別の関心を払う、奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる、顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する、以上が公式訪問の目的です。8月23日の公式訪問には全員参加をよろしくお願い致します。これで会長の時間を終わります。

G9ガバナー補佐 田坂 潤様



三原ロータリークラブ所属の田坂でございます。2023-2024年度G9ガバナー補佐を拝命しまして、こうしてプレ訪問させて頂きました。今回が初めてでスタートの訪問で、すごく緊張しているところです。

私の職業分類は仏教です。お寺の住職でございます。三原ロータリークラブへ平成11年に入会して24年ほど経過していますが、ロータリーでは「はい」と言いなさいという形で、その間一環してイエスマンで通してきました。

趣味は、若い頃はスキーが好きでいろんなところへ車を運転して雪があるところへ滑りに行きましたが、10年程前に身体のことを考えて道具一式全て処分しました。

そして、青年会議所時代のことで、球技が全くダメなんです。そういう中で、理事長の時にゴルフの大会でスモークボールの第一打で始球式をすることになりました。やったことがありませんので一週間打ち方とか必死で教えていただきました。いざ当日になりましたら練習のし過ぎで身体が固まってしまう、必死の思いで始球式へ臨んだのですが、凶らずも空振りをしてしまいました。私は海が好きなので水上スキーとかウエイクボードを楽しんでいます。

本日のプレ公式訪問で必ず伝えなければならないことがあります。それは今年度の国際ロータリー会長そして2710地区ガバナーの意向です。これらについてお話させていただきます。

2023-2024年度国際ロータリー会長 スコットランドのサウスクイーンズフェリーRCのメンバーでゴードンRマッキナリーさんです。テーマは「Create Hope in the World 世界に希望を生み出そう」と今年の一月の国際協議会で示されました。その具体例として、

1. 平和の推進に重点を置きたい

平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。ウクライナをはじめイエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界の数十の紛争地域にも当てはまります。平和とは、希望が根づくための土壌です。

人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平

和の追求です。ロータリーでは、全ての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

2. これまでのロータリー活動の中で継続したいこと

- 1) ローターアクトに力を与えるローターアクターたちは全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなる熱意を示している。
- 2) 女児のエンパワメント。世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援いたします。
- 3) 多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)を促進します。単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。ロータリーを、最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にしましょう。
- 4) ポリオの根絶。依然としてロータリーの最優先事項ではありますが、現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約12人に1人に過ぎないということです。毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

3. メンタルヘルスにも焦点をあてたい

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。最も傷ついている世代のひとつが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。メンタルヘルスの助けをを求めることは弱さであると考えられていますが、助けを求めることは勇気ある行動です。

ロータリーでも過去三年間続いた新型コロナウイルスの影響を受けました。ここに来て2類から5類へ行くということでも対面で行うことは多くなってきましたが、まだまだ注意しなければいけない状況です。

4. 纏めとして、世界に平和にもたらし、紛争の影響を受けた人々を癒すこと、そして、私達自身の内面的な闘いと向き合うために、お互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです。

私達が得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

そして2023-24年度国際ロータリー第2710地区ガバナー井内康輝さん、広島南RC所属です。ガバナー信条は「平和の種をまこう ロータリアンにできること」です。

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである、と書かれています。また、ロータリー財団の使命も、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成することとされています。すなわちロータリーは奉仕活動を通じて、世界の平和を希求することをめざす人々の集まりといえると思います。

1945年、ロータリーは国際連合（国連）や国連教育科学文化機関（ユネスコ）の創立に重要な役割を果たしました。その後も紛争を解決し、平和を築く人材の育成のために、世界にロータリーセンターを設立するなど、平和を希求する精神はゆるぐことはありません。しかし世界中では紛争は絶えず、直近ではロシアのウクライナへの侵攻という憂うべき事態が発生しています。これに対して現在の国連の無力さが叫ばれていることも事実です。

ロータリーは、司法権もなければ、宗教でもない、軍隊も戦車もなく、非政治的な態度をとっています。こうした組織が平和のための真の力となるのか、という懐疑的な見方もありますが、紛争の原因は飢餓や貧困、経済的格差、民族差別など、社会を構成するひとりひとりの営みや意識に起因しています。ロータリー財団のめざす7つの分野での目標を達成することによって、それらの紛争の原因を取り除き、平和への道すじを作ることも可能だと信じます。

私の所属する広島南ロータリークラブでは、2度にわたって国際的な平和会議を主催してきました。1度目は1988年1月、松尾明PGのもとで、在広8クラブの協力をえて、世界14カ国からロイス・アビーRI会長をはじめとする660名のロータリアンが集まりました。2度目は2013年5月、川妻二郎PGのもとで在広13クラブの協力をえて、世界52カ国から田中作次RI会長をはじめ2,763名のロータリアンが広島に集い、世界平和達成のために何ができるかを討議しました。平和を希求する精神は常に繰り返して語り続けられなければなりません。さらに世代の壁をこえて全ての人々が協力しつつ、何らかの行動を起こす必要があります。2023-24年度は、繰り返して語るべき“平和を希求する精神”の涵養をめざす1年にしたいと思っています。

地区クラブにおいて達成すべく目標

- 1) RI会長テーマ、ガバナー信条をふまえた“奉仕プロジェクト”の実施
- ①社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、のいずれかのテーマでの奉仕プログラムを実施して下さい
- ②地区補助金、グローバル補助金を大いに活用して下さい

2) RIの行動目標としての“会員の基盤を拓げる”ための取組み

- ①会員の増強（地区全体で3,200名の会員を維持する）をはかって下さい
- ②新クラブの結成を模索して下さい
- ③ローターアクトクラブの支援をして下さい
- 3) マイロータリーの利用とロータリー賞へのチャレンジ
- ①各クラブで会員のマイロータリーへの登録割合をふやして下さい
- ②クラブ・セントラルへの目標の入力、報告の入力をして下さい
- 4) ロータリー財団への支援をお願いします
- ①年次基金 150ドル以上/クラブ会員1人当り
- ②恒久基金 ベネファクター1名以上/クラブ当りまたは1,000ドル以上/クラブ当り
- ③ポリオプラス基金 30ドル以上/会員1名当り
- ④冠名基金、大口寄附も考えて下さい
- 5) 米山記念奨学会への支援
- ①16,000円以上/クラブ会員1人当り
- ②賛助会員（3,000円/年）への入会

どこのクラブも会員の減少に歯止めが付きません。竹原RCも大変な状況ではありますが、会員増強に努めて頂きたいと思います。

ガバナー公式訪問ですが、ガバナーの強い希望で、合同ではなくて単独での公式訪問ということになりましたので宜しくお願いします。

最後に私事ですが、皆さんロータリークラブの同好会に何か入られていますか。私は通称「IYFR」「瀬戸内しまなみフリース」へ入っています。それは2015年創立されて、瀬戸内海を囲んだ各県が一緒になって設立した同好会であります。これは国際ロータリーで初めてできた同好会で、海を愛する方が集まった同好会です。もしご興味がありましたら入会していただきたいということをPRさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

クラブアッセンブリー

13:40~14:20

